

4月の認知症カフェオープンを前に開かれたセミナー  
＝天童市・明幸園



# 認知症語り合おう

## 天童・特養内「Mカフェ」来月「開店」

### 原則毎月1回、日曜日に

認知症の人やその家族、住民らが気軽に集える認知症カフェ「Mカフェ」が4月から、天童市の特別養護老人ホーム明幸園内にオープンする。「開店」を前に13日、同園で開かれたセミナーでは「認知症は長生きの証し」として、偏見を持たずに周囲が支えることの大切さを学び、カフェがその役割を果たせるよう運営していくことを確認した。

◇ 認知症カフェは、政府が決定した「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に沿って県内でも広まっており、天童市内では初めて。

セミナーには市内外から約80人が参加。県健康長寿推進課の担当職員が、65歳

以上の4人に1人が認知症  
またはその予備軍とされ、身近な存在であることを強調し、「認知症によって生活に支障も出てくるが、自立を尊重し、できないことを周囲がサポートするのが大切だ」と説明した。

認知症の人と家族の会県

支部世話人代表の山名康子さんは「認知症になると、本人も周囲も分からないことばかりで不安になる。みんなが悩みを打ち明け、助け合えるのが認知症カフェ」と述べる一方、「カフェに足を運ぶまでには壁もある。認知症への偏見を取り除き、単に集まることを

楽しめるような雰囲気づくりを進めてほしい」と、運営について助言した。「Mカフェ」は同園の施設を活用し、4月10日にオープン。原則毎月1回、日曜日に開く。時間は午後1～3時で、利用料は50円。問い合わせは明幸園023(653)3071。